



箱根駅伝に想うこと

校長 福嶋 圭輔

頃春の候、保護者、地域のみなさまには、日頃より本校教育活動にご理解ご支援を賜り誠にありがとうございます。本年もどうぞよろしく願い申し上げます。

今月7日の三学期始業式では生徒に次のような話をしました。今年の箱根駅伝では青山学院の5連覇という大方の予想を覆し、東海大学が初の総合優勝に輝きました。就任8年目の両角監督は、

6年前の就任2年目、それまで40年続いていた東海大学の箱根駅伝連続出場を逃すという大きな失敗をしました。スピード重視という方針転換によってトレーニング方法を変更したことなどが原因だとたたかれ、監督交代も噂されました。しかし大学は彼を監督に留任し、両角監督も反省と修正を繰り返しながら6年という歳月をかけて今回の成果に到達できました。皆さんの中にもこれまでに学校や家庭での生活、人間関係、部活動などいろいろな場面で『失敗した』人がいると思います。失敗は決して恥ずかしいことではありません。恥ずかしいのは失敗から立ち上がらないことです。私もこれまで(教員生活も含め)失敗と過ち、挫折を繰り返しその都度、反省と修正、改善を図りながら何とか現在まで教員を続けることができました。新年にあたり、これまでの失敗、反省、課題から新たな目標を掲げた人も多いと思い、話しました。

失敗は決して恥ずかしいことではない

恥ずかしいのは失敗から立ち上がらないことだ

また、両角監督を東海大学に招聘した山下泰裕東海大副学長のバックアップがあったことなど、失敗や挫折をしたときに支え、励ましてくれた家族、友人、同僚、上司の存在が欠かせません。その方々への感謝の気持ちを大切に、恩に報いることが失敗や挫折を乗り越え、成果につながるものと誰もが口にします。誰にでも起こる失敗や挫折、そこから迷うことなく立ち上がることができる年に今年もしたいものです。

中学生のうちに

3 学年主任 亀井 典子

「もう受験生だからね。」と4月の授業で言うとキョトンとしていた3年生ですが、今ではいたるところで質問をしたり、アドバイスをもらったりしている風景を見かけるようになりました。プレッシャーを感じて「受験生をやめたい！」なんていう声も聞こえてきます。それでも友だち同士で声を掛け合ってくじけそうな気持ちを奮い立たせているそんな日々を子どもたちは送っています。

こんな学校の一場面からも子どもたちの成長を感じるものがたくさんあります。まずは学習面です。1年生の時は宿題や課題が出てものんびり構えていて、提出日に間に合わないなんてこともよくありました。しかし今では、先を見越して、空き時間を利用して少しずつ進めて間に合うように工夫しています。恥ずかしさが先に立って質問できなかつたのが、今では相手を信頼して堂々と質問しています。



次に学校での生活面です。委員会活動や部活動では、とっさに意見を求められたり、違う意見をまとめたりしなければならない場面に出くわします。そんな場面でも、自分なりに理由をつけて説明する力がついています。このように中学校は勉強だけではなくその他いろいろな力をつける場所だと思います。励ましてもらって温かさを感じたり、悔しい思いをして次はこうしてみようと考えたり。自分で選べる集団ではないからこそ、そこでの体験は貴重なものだと思います。卒業までの2か月の間に学力と、その他いろいろな力を高めていってほしいです。私たちはこれからもずっと応援していきます。

結びの時期に思うこと

2 学年主任 新田 健太郎

1 学期、新しいクラスで生活が始まりました。5月の校外学習では、仲間と協力して一日鎌倉を巡りながら、自主的に取り組む活動を成功させました。

2 学期には、体育祭、芸術祭と行事が続きました。運動が得意な人は体育祭で、歌や人前で自分を表現することなどが得意な人は芸術祭で、それぞれに活躍をしました。集団の力はすごいもので、得意な人がリーダーシップを発揮すると、周囲の人がそれに合わせて今までにみられなかった力が出せるところです。赤学年の皆さんの強みは何事も一所懸命に頑張るところです。力の出し惜しみをせずに取り組む姿勢はこれからも持ち続けてもらいたいです。

いよいよ学年の結びになる3学期を迎えました。継続的に取り組んでいるキャリア教育では、1月31日に職場体験学習を行います。横浜市内の事業所に依頼し生徒を受け入れていただきました。この日は実体験を通して「働くことの意義」について考えを深めるのがねらいです。そして、将来の自分の姿をイメージしながら、卒業後の進路について考えていきます。また、1月22



日には修学旅行のオリエンテーションを行い、「古都にふれる」（学んだことを実際に見たり感じたりする）・「自己を高める」（集団の中で自分のよさを生かす）「3年間の集大成」（これまでに身に付けた力を発揮する、自主自律し、自分たちの修学旅行をつくる）など目的やこれからの活動について話しました。4か月後（5月20～22日）の修学旅行…どのような旅になるか楽しみです。

階段を上るように、一歩ずつ、一歩ずつ

1学年主任 星 浩二

1年生が入学してから、はや1年が過ぎようとしています。5月の自然教室に始まり、10月には合唱祭と文化祭、先日は百人一首大会と、「中学生になって初めての」行事を経験してきました。それらの経験の中で、生徒たちが少しずつ中学生らしくなってきたという印象があります。学級や班で団結・協力しようという意識、中学校生活や社会でのルールやマナーを学ぼうという姿勢、一人ひとりが入学したときより大きく成長したと感じています。この後、1月末には福祉体験学習、3月には球技大会もあります。これらの行事を通して、ますます成長してくれることでしょう。

部活動も本格的になってきました。4月に入部したばかりのときは、運動部所属の生徒はみんなヒーヒー言っていたのが、多くの生徒は今では上級生と同じメニューを普通にこなすようになっています。肉体的にも大きく成長したように思います。

学習面においては、授業中集中して取り組んでいて着実に力をつけている生徒も多いのですが、中には大器晩成型の生徒も……。中学校の学習内容は小学校に比較すると難しく

なっています。早く自分に合った学習方法を見つけましょう。いろいろな先生方からアドバイスを聞きながら、どのような学習方法が自分の力を伸ばすことができるのか模索してみましょう。

本宿中学校1年生、階段を上るように一歩ずつ一歩ずつ、確実に成長しています。



校内書き初め展 1月8日(火)～

全校生徒が2学期・冬休みの課題として取り組みました。金・銀・銅賞と、各学年で審査を行いました。どれも力作揃いで審査に苦勞するほどでした。優秀作品は図書室前のホールに展示します。受賞されたみなさん、おめでとうございます。

【校内書き初め展 入選作品】(敬称略)

3年金賞	加賀谷 妃南美	2年金賞	大野 珠実	1年金賞	山西 理緒
銀賞	太田 結理	銀賞	杉山 千夏	銀賞	青野 那南
	小高 七海		矢野 真都		栗原 結衣
	木村 なぎ	銅賞	石田 聖		堀江 杏奈
	濱崎 廉也		浦 詩歩	銅賞	阿部 夏香
	細田 歩叶		高崎 陽菜		木村 かのこ
	山田 響平				瀬谷 充生
銅賞	青木 健悟				千葉 太智
	齋藤 真優				山口 心結

1学年 百人一首大会 1月16日(水)

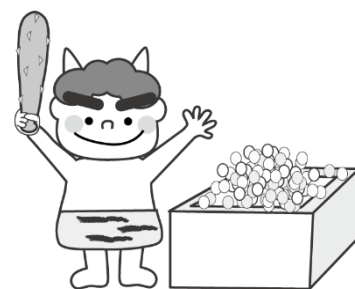
※2・3年生は3月に実施予定

16日に1年生の百人一首大会がおこなわれました。上の句でとれる札も多く、レベルの高い戦いが繰り広げられました。クラス対抗の源平戦の形式で行われ、優勝は1年3組でした。なお、2年生は15日に予定されていましたが、欠席者多数のため3月に延期となりました。



【2月のおもな予定】

- 2/ 7 (木) 部活動振興会(新旧役員引き継ぎ)
- 10 (日) 私立高校一般入試
- 11 (月) 私立高校合格発表
- 14 (木)・15 (金) 1・2年 学年末テスト
- 14 (木) 公立高校学力検査
- 14 (木) 新入生保護者説明会
- 15 (金)・18 (月) 公立高校面接試験等
- 21 (木)・22 (金) 1・2年 横浜市学力・学習状況調査
- 25 (月) 野村香さんを捜す活動



平成31年度入学式について

日 時：平成31年4月5日(金) 13:30 開式

場 所：本宿中学校 体育館

その他：新入生の詳細につきましては2月14日の新入生保護者説明会でご連絡します。